

【別表 1】

## 所得基準額表

区 分		令和3年分所得	備 考
世 帯 人 員	1 人	678 万円	世帯人員が7人を超える場合は、 1人増すごとに20万円を加算する。
	2 人	782 万円	
	3 人	828 万円	
	4 人	855 万円	
	5 人	882 万円	
	6 人	902 万円	
	7 人	922 万円	

備考 1 生計を一にする世帯全員の所得額合計から、別表2の特別控除額を差し引いた額が世帯人員に応じた基準額以下であること。

2 所得額は、貸与申請前年の所得税法上の所得とする。

## 【所得基準の計算例】

世帯人数4人（世帯構成 本人 父 母 弟（私立高校 自宅通学）1人）

給与のみの場合

父 給与収入 680万円 （所得金額 502万円）

母 給与収入 460万円 （所得金額 324万円）

計 826万円

特別控除額（別表2）

本人を対象とする控除 59万円

弟（私立高校 自宅通学）1人 41万円

計 100万円

世帯の認定所得額726万円 = 世帯所得合計額826万円 - 特別控除の合計額100万円

4人世帯所得基準額855万円（別表1）

726万円 < 855万円

この計算例の場合は申請対象となります。

【別表2】

## 特別控除額表

特別の事情		特別控除				
A	(1) 一人親世帯	49万円				
	(2) 本人以外の就学者がいる世帯 (児童・生徒・学生 1人につき)	小学校		8万円		
		中学校		16万円		
				自宅通学	自宅外通学	
		高等学校	国公立	28万円	47万円	
			私立	41	60	
		高等専門学校	国公立	36	55	
			私立	60	80	
		短期大学・大学	国公立	59	102	
			私立	101	144	
		専修学校	高等課程	国公立	17	27
	私立			37	46	
専門課程	国公立		22	62		
	私立		72	112		
B	(3) 障がい者のいる世帯 1人につき	障がい者に該当する者 (申請書添付資料：障がい者手帳、療育手帳等の写し等)		86万円		
	(4) 長期療養者のいる世帯	療養のため経常的に特別な支出をしている年間金額。 (申請書添付資料：令和3年中の診療費領収書の写し)				
	(5) 主たる家計支持者が別居している世帯	別居のため特別に支出をしている年間金額(住居費・光熱水費に限る)ただし、71万円を限度とする。 (申請書添付資料：令和3年中の住居費、光熱水費領収書等の写し)				
	(6) 火災・風水害・盗難等の被害を受けた世帯	日常生活を営むために必要な資材または生活費を得るための基本的な生産手段(田・畑・店舗等)に被害があつて、将来長期にわたって支出増または収入減になると認められる年間金額。 (申請書添付資料：被災を証明する書類及び将来長期にわたって支出増または収入減になると思われる年額の見積書)				
申請者本人を対象とする控除(本人のみが対象)		59万円				

備考：A欄の控除については、該当する特別の事情が2つ以上ある場合には、それらの特別控除額を併せて控除することができる。

# 【記載上の注意】

(様式貸規第1号)

## 長谷育英奨学資金貸与申請書

フリガナ 申請者氏名			男・女	生年月日	平成 年 月 日生		
現住所	〒 電話 - -						
高等学校名等	立 課程 ※ 在学	学科 卒業 (年 月)	高等学校 科	高等学校 卒業程度 認定試験合格	年 月		
入学時 奨学一時金	※ 希望する・希望しない		進学予定学校の種別		※ 大学・短期大学・ 専修学校(専門課程)		
生計を一にする家族 及びその所得者	就学を 除く 家族 及 び そ の 所 得 者	続柄	氏名	年齢	所得等の種類	収入金額(税込) ・売上高	所得(利益)金額 (税込)
		続柄	氏名	設置者別	学校種類別	学年	通学別 (小・中・高)
	本人			※ 国・公 ・私立	※ 小・中・高・高専・大・ 専修(高・専)・その他( )	学年	※ 自宅 自宅外
				※ 国・公 ・私立	※ 小・中・高・高専・大・ 専修(高・専)・その他( )	学年	※ 自宅 自宅外
				※ 国・公 ・私立	※ 小・中・高・高専・大・ 専修(高・専)・その他( )	学年	※ 自宅 自宅外
				※ 国・公 ・私立	※ 小・中・高・高専・大・ 専修(高・専)・その他( )	学年	※ 自宅 自宅外

募集要項の貸与額(2)を参照してください。

主に家計を支えている人には○  
別居している人には×  
(単身赴任など)

「令和3年分所得証明書」の  
「収入金額等」欄より転記  
年金受給者の人は、  
「令和3年分所得証明書」の  
「年金収入額等」欄より転記

「令和3年分所得証明書」の  
「所得金額等」欄より転記

- 備考 1 ※印は、該当するものを○で囲むこと。  
2 「生計を一にする家族及びその所得の欄は、主たる家計支持者に○印、別居者に×印を「続柄」の左欄に記入すること。  
3 「学校種類別」の欄の「その他」は、特別控除額表の校種に当てはまらない学校(各種学校等)の場合に○で囲むこと。

家 庭	特 別 の 事 情	該 当 欄 (該当する欄に○を付ける)	特 別 の 事 情	該 当 欄 (該当する欄に○を付ける)
	(1) ひとり親世帯		(5) 主たる家計支持者が別居している世帯	
	(2) 申請者以外に就学者のいる世帯		(6) 災害を受けた世帯	
	(3) 障がい者のいる世帯		(7) その他特別な事情がある世帯	
事 情	(4) 長期療養者のいる世帯			
	(上記(3)～(7)に該当する世帯にあっては、その事情、状況等を具体的に記載すること。)			
	-----			
	-----			
	-----			

上記のとおり記載事項に相違ありませんので、長谷育英奨学資金貸与規程の定めにより、育英奨学資金の貸与を申請します。

令和 年 月 日

公益財団法人 長谷育英奨学会 様

各自自署してください

申請者 氏 名

印

異なる印鑑を使ってください

法定代理人・連帯保証人 1 (父母またはそれに代わる人)

氏 名

印

父母またはそれに代わる人

住 所

日中の連絡先 携帯電話 — —

勤務先 — —

申請者との続柄 ( ) 昭和 年 月 日生

- 備考：1. 「家庭事情」の欄の(3)から(6)までに該当する場合は、その事由を証する書類を添付すること  
 2. 日中の連絡先は、平日の日中に必ず連絡が可能な番号を記入すること